

【別紙 1】

重要研究開発プログラムで対象とする技術の詳細及び目標とする成果達成時期

【対象とする技術の一覧】

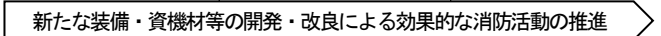
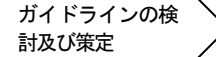
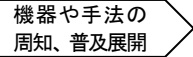
重点研究開発目標技術	公募する研究課題のテーマ
消防防災活動における Society5.0 の実現に資する新たな装備・資機材等の開発・改良	AI や ICT 等を活用した災害対応のための新たな装備・資機材等の開発・改良

※各テーマについて示す目標時期までに、所要の成果達成が見込める研究開発課題を募集します。詳細については次ページ以降を参照ください。

【別紙 1】

<b>(分野名) ※消防分野</b>	
(テーマ名) AIやICT等を活用した災害対応のための新たな装備・資機材等の開発・改良	
背景等	<p>◆統合イノベーション戦略 2019 (令和元年 6 月 21 日閣議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害等の予兆や発生後の状況をいち早く、高精度に把握するとともに、自然災害等の予測・被害予測を迅速かつ正確に行い、自然災害等の防止や災害による被害を最小限に抑える技術</li> </ul> <p>◆世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画 (令和元年 6 月 14 日閣議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の災害から収集されたデータの AI 分析等を通じ、地震・豪雨・水害等を予測する取組は続けていかなければならない。そうした災害予測の精緻化と並行して、平時より有事の際の災害情報の伝達や被災後の生活再建支援を迅速かつ的確に行う準備を進めておく必要がある。</li> </ul> <p>政府戦略を踏まえ、下記の研究開発を推進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○少ない人員での消防活動に資する資機材開発及び効果的な火災リスク把握に資する研究開発</li> <li>○消防隊員の活動支援及びより良い活動環境の整備に資する研究開発</li> <li>○救急需要の分析及び効果的な運用に資する研究開発</li> <li>○最先端技術を活用した予防業務の自動化及び効率化に資する研究開発</li> <li>○風水害や大規模地震の災害現場における搜索技術及び装備等の研究開発</li> </ul>
必要とする成果内容と目標期限	<p>【令和 2 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試作機器や試作システムの開発及び機能確認</li> </ul> <p>【令和 3 年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実用化に向けた実証試験・社会実装化の推進</li> </ul>
成果活用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防機関の装備に係るガイドライン等の策定</li> <li>・消防機関に周知</li> </ul>

【ロードマップ】

	～R1	～R2	～R3	R4～
消防庁の施策動向				
テーマ設定型研究開発 (重要研究開発プログラム)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【令和 2 年度末】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器や手法を開発するための必要なデータの調査・解析</li> <li>・試作機器の開発及び機能確認</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【令和 3 年度末】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実用化に向けた実証試験</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【令和 4 年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実装化・消防本部等への配備</li> </ul> </div>

※ロードマップは令和 2 年度消防防災科学技術研究推進制度の公募にあたり、申請者の参考となるよう示すものです。社会ニーズや行政課題の変化に応じて変更する可能性があるものであり、今後の予定を保障するものではありません。